

ふるさと門川と将来の夢

草川小学校 五年 木田 尚志

わたしには、ふるさと門川でかなえたい、大きな夢があります。それは、門川で「命を守る仕事をする」ということです。

今日は、学校生活や地域での取組の中で見つけ、考えた、わたしの夢について、お話しします。

まず、わたしが実感している、「門川のいいところ」について、話します。それは、地域の方々とのふれあいがあるということですね。登校する時に、草川保育園の前で、地域の方々といっしょにすることが、当たり前になっています。

また、わたしはサッカー少年団に入っています。林監督や初田コーチにご指導をいただきながら、練習を頑張っています。

門川は食べ物おいしいです。わたしは、魚が大好きです。夕ごはんでは、母の魚料理を食べることが、大好きです。去年、学校のオーブンスクールでは、魚をさばく体験をさせてもらいました。わたしは、地域の方々にお世話になりながら、魚を食べて、大きくなっています。

小学五年生の今、わたしが頑張っていることは、学校生活と、駅伝です。学校では、学級の友達と協力しながら、授業を受けたり運動場で遊んだりしています。運動会では、表現で組体操に取り組みました。ブリッジやアンテナなどの個人技や、支え倒立やピラミッドなどの団体技に取り組みました。特に、ピラミッドでは、一番下に三人、その上に二人、そして一番上に人

が立って乗るといふ技がありました。上の人たちの体重を支え続けるのが難しく、練習はとても大変でした。そんな技を成功させることができたのは、同じメンバーで、何度も練習を続けたからだと思います。

宿泊学習では、延岡市にある、むかばき青少年自然の家にいき、規律、協同、友愛、奉仕の四つの精神を学びました。一番大変だったことは、登山です。自分が転びそうになったときに、友達にリュックサックの肩ひもを引っ張ってもらったことがあります。友達に力をかしてもらったこと、支え合いながら登山ができたことは、とても大切な思い出です。

わたしは、先日行われた市町村対抗駅伝に、参加することができました。十一月から、海浜公園の外回りを走ったり、ラストパートを走り切るための練習を続けたりしてきました。本番は、選手ではありませんでしたが、選手の荷物を持つ手伝いをしたり、門川チームの応援を頑張ったりすることができました。来年は選手になって、門川の選手として一生懸命走りたいです。

このように、わたしは、たくさんの人に支えてもらって、今こゝ門川に生きています。だから、将来、わたしは、門川の命を守る、消防士になりたいです。これからも、わたしは、学校生活を頑張しながら、学力や体力、そして判断力を付けていきたいです。

わたしに関わっていただくすべてのみなさん、育て、支えていただき、ありがとうございます。

今はまだ子どもですが、将来の夢に向かって、しっかり成長していきます。ふるさと門川の力になることができるよう、その時その時に、自分ができること、自分がすべきことを考え、実行していきたいです。

これで、ふるさと門川と将来の夢について、わたしの発表を、終わります。ご清聴、ありがとうございました。
